

あいかわ森のようちえん



- ◆事業目的：①外で遊ぶ楽しさを知ってもらう
②森のようちえんの理解

◆参加者数：6 家族 20 名

◆体の芯から冷える寒さの中、元気に本事業を行いました。子どもは寒さなんて関係ないといった様子で、受付を通る前に大きな霜柱を踏んで遊んでいます。きっと村に到着する前から子どもたちの遊びは始まっているのでしょう。午前中は子どもと親が別々に探検。いきなりの別れに親に泣きつく子もいましたが、勇気を出して探検に行く子、親についてきてもらう子とさまざまでした。子どもは落ち葉や木の実がいっぱいのフィールドで時間を忘れて遊び、親は野鳥観察を行いました。遠くの高い木の上にやっと数羽観察できるなど、鳥には恵まれませんでした。その他で自然の中での遊びなどを紹介したので、うまく使っていただけたらと思います。午後は親子でたき火を楽しんだり、バケツの水に張った氷で遊んだりしました。ここでは普段できないことを体験していただき、家に帰ってからはここで覚えた鳥の知識や自然遊びを実践してもらえたらうれしいです。(文責：石川)

担当スタッフ：くどう、まいしん、せっち、タップ、みよっしー、う～ま